



旅する公務員

第19弾

埼玉県横瀬町

「旅する公務員」の目的

◆「A面」的目的

磐梯町役場の情報システムを活用したテレワーク環境を活かし、磐梯町と交流のある自治体に職員を派遣。派遣先自治体で自町の業務をテレワークで実践しながら、派遣先の業務や職場の雰囲気について磐梯町との共通点や相違点を実体験しながら学習する。



◆「B面」的目的

自治体間の交流を推進し
互いの先進事例を共有することにより
地域課題の解決を図る。



◆「ボーナス 트랙」的目的

先方自治体の職員の方ばかりではなく
関係者や団体の方々
なにより住民の方々と
昼夜分かたず楽しく交流し お友達になる。

「旅する公務員」 第19弾の概要

旅した期間 2024年12月16日（月）～2024年12月20日（金）

旅した職員 行政経営係 係長 長 泰志
行政経営係 主査 五十嵐 卓

旅した場所 埼玉県 横瀬町

旅の概要



OpenStreetMap



日本一チャレンジする町

横瀬町

面積 49.36km²

人口 7,452人 (2024.12.01)

埼玉県の西部、秩父地方の南東部にあって都心から70km圏内に位置する。

気候は、山地に囲まれた盆地であるため寒暖の差が比較的大きいものの、四季を通じて概ね穏やかである。

町内に西武鉄道の芦ヶ久保駅と横瀬駅の2駅を有し、横瀬駅は武甲山登山の拠点でもあり、特急列車も停車する。
町のキャラクターも武甲山をモチーフにしたもので「ブコーさん」という。

今回は公用車で旅先へ。(4時間ですね)

旅のスケジュール

月日	AM	PM	宿泊
12/16 (月)	移動 (公用車移動)	横瀬町役場着 (富田町長面談、役場内挨拶、町内施設案内)	横瀬町内 (武甲温泉)
12/17 (火)	横瀬町役場 (テレワーク対応、職員と意見交換)	横瀬町役場 (横瀬町の取組説明、町内施設案内) Area898 (グローバル最終成果報告会参加)	横瀬町内 (武甲温泉)
12/18 (水)	横瀬町役場 (Webサイトについて職員と意見交換・井上副町長面談&昼食)	横瀬町役場 (集落支援員・地域おこし協力隊・DXについて職員と意見交換)	横瀬町内 (武甲温泉)
12/19 (木)	横瀬町役場 (役場内コワーキングスペースでテレワーク、行政区長会・選挙用務について職員と意見交換)	秩父市内散策 (秩父神社・お祭り会館等) Area898 (地域おこし協力隊・集落支援員活動報告会参加)	横瀬町内 (武甲温泉)
12/20 (金)	横瀬町役場 (1月に磐梯町受入予定者と面談、横瀬町職員研修にオブザーブ参加)	秩父コミュニティFM (横瀬町番組枠に富田町長他総勢4名で参加) 移動 (公用車移動)	

旅する「A面」

◆旅先でのテレワーク作業は全く問題なし！

- ①情報システムのクラウド化により、OneDrive、Teams、Outlookも使え、職場内外との連絡調整もスムーズに行える。
- ②日常業務でもオンラインミーティングを行うことが多いため、コミュニケーション感覚が少ないなどの問題は感じられない。
- ③ 一方、実際にPC（個人情報含む）を持ち出しているのは事実であるため、セキュリティー面での不安は残る。そのため、クラウド型デスクトップにするなどの対応が図ればさらに良い。
- ⑤電話対応については、個人携帯しか所持していないため、BYODも含めた設計もしくは職員携帯があればさらに良い。



磐梯町役場とオンラインで予算査定に参加



庁舎ロビーに設置されているコワーキングスペースでの作業

旅する「B面」①

◆全体を通して、より多くの方と対話することを心がけました。

◆まち経営課の取り組み（受入れ担当課）

日本一にチャレンジする町を掲げて約7年目。40年後には人口2,600人という消滅可能都市という未来。このままではいけないと町の未来を考えはじめた。

先が見通せない時代、計画通り実施しても成功するかわからない。町の最上位計画である総合計画も前期4年後期4年の8年計画に変更。

「日本一住みよい町、日本一誇れる町」を将来ビジョンとし、人を惹きつける魅力ある町、様々な人がチャレンジできる町を目指すと同時に、色彩豊かで美しく、多様な幸せや自分らしく幸せに生きいる。そんな「カラフルタウン」を目指し町の経営戦略に取り組んでいる。

小さい自治体ゆえのスピード感ある事業展開、都心からの好アクセス（都心から73分）、強固なコミュニティの醸成による住民と職員の深い繋がり。外部から「ヒト・モノ・カネ・情報」を継続流入させて化学反応を促進している。



「日本一チャレンジする町」を先導するみなさんと
小俣主任、富田町長、五十嵐、長、井上副町長、大畑課長
(まち経営課) (まち経営課)

旅する「B面」②

◆まち経営課の取り組み（受入れ担当課） 官民連携プラットフォーム「よこらぼ」 ～企業誘致ではなく**事業誘致を**～

まちづくりの実践や実証試験ができるチャレンジのフィールドとしての提供。スタートアップ企業の実証が多く、他自治体では実証実績がないと取り組ませてくれないことにもチャレンジが出来る環境。

提案ジャンルは問わず、イベント開催から商品開発まで様々。実施主体はあくまでも提案者。町は実証場所や伴走支援、採択基準は提案者と町民の双方にメリットがあることが条件となる。

7年間で141件の採択。提案は234件。子育て教育が23%、シェアリングエコノミー8%、新技術活用・開発16%程度（1.6件/月）

- ・令和4年度ふるさとづくり大賞を受賞。
- ・住み続けたい町ランキング2022第4位にランクイン。



みなさんを出迎える、町内の木材を使用した
「カラフルタウン」入り口

旅する「B面」②

◆意見交換（空き家バンク）

秩父圏域で組織する「（公社）ちちぶ空き家バンク」に加盟。秩父地域にある空き家・空き地物件情報をホームページ等を通じて公開。広域連携の強みを生かした物件情報の充実や事務局機能が充実しているため、初動対応も迅速かつスムーズである。



空き家バンク担当
まち経営課 大岡主事

◆意見交換（空き家対策事業）

空き家対策については全国どこの自治体でも同様の課題があることを再認識。

職員対応により空き家調査を実施

（町内3,300棟→約300棟が空き家）

特定空き家、管理不全空き家の指定に取り組んでいる。

令和6年4月からの相続登記の申請が義務化されたことを受け、無料相談会を強化中。



空き家対策担当
建設課 引間主事・新井主査

旅する「B面」③

◆意見交換（集落支援員制度）

横瀬町は2名の支援員を配置（専任委託型）

1名は犯罪・交通事故抑止・防災対策員

1名はデジタル相談員

お会いしてみて、地域の信頼が厚いことを実感。採用については、地域おこし協力隊も含め、役場主導ではなく地域商社「ENgaWA」が募集から採用までを行っていた。

◆地域おこし協力隊&集落支援員活動報告会 (@Lab横瀬・@Area898)

各隊員による活動報告会に参加。

磐梯町のような全体報告会ではなく、個別ブースが設けられており、年間の活動報告を来場者向けに発信していた。

隊員の所属先である「ENgaWA」が機能しており、商品開発やイベントの運営などにも積極的に参加できるフィールドがある。横瀬町の魅力を最大限に伝えていた印象。



まち経営課 小泉専門官

3月まで総務課長。

役職定年を迎え、外部人材の受入れを担当



集落支援員（よろず相談） 福手さん
町民みんなのアイドル



集落支援員（防犯） 須藤さん
元さいたま県警



役場ロビーに設置されている
地域おこし協力隊員のポストカード

旅する「B面」④

◆意見交換（横瀬コミュニティマネージャー）

Area898 大野さん

- ・ 役場OB（再任用職員として勤務）
- ・ よそから来る人に地元の話をしたりする役割が性に合っている。
- ・ よこラボのいいこと⇒採択されたものが全て実装できているわけではない。実装しているのは1/3程度。ただ、チャレンジャー同士のネットワークの広がりを感じている。それが財産だと思う。

Lab横瀬 新堀さん

- ・ えんがわの地域商社に所属したいる地域おこし協力隊。
- ・ こちらを選んだきっかけ⇒熊谷の出身。馴染みがある。
- ・ 2度ほど会津訪問あり。LAC磐梯に宿泊経験あり。
- ・ 秩父音頭・横瀬音頭の継承にも尽力。
- ・ 来ている人と何かやっているうちに1日が過ぎていく。
- ・ 2年半になるが、ここで暮らしていこうと決心した。関わりが変わってきた。これを今後も深めていきたいと思う。



Lab横瀬コミュマネ新堀さん、Area898コミュマネ大野さん



磐梯町でも活躍中の星さんと（横瀬町地域活性化起業人）



芦ヶ久保地区高台から眺める今シーズン初冠雪の武甲山

以上

「旅する公務員」第19弾
埼玉県 横瀬町

報告を終わります。

磐梯町役場
行政経営係

係長 長 泰志



主査 五十嵐 卓

